

記載例

様式第8号（第11条関係）

補助事業実績報告書

「事業の完了年月日」と同日もしくはそれ以降の日付にする

第 号

令和7年8月19日

神戸県民センター長 様

事業終了（完了）後、30日以内又は翌年4月10日のいずれか早い日までに報告
例：12月31日に終了した事業→1月30日までに報告
例：3月15日に終了した事業→4月10日までに報告

住 所 神戸市〇〇区〇〇町〇丁目〇-〇

団 体 名 〇〇〇〇〇〇

代表者名 会長 〇〇 〇〇

電 話 (078) 〇〇〇-〇〇〇〇番

電子メール 〇〇〇@〇〇〇.〇〇.jp

交付決定時にお送りする交付決定通知書に記載の日付及び文書番号

令和7年〇月〇〇日付け神戸(県)第〇〇〇〇号により交付決定のあった令和7年度神戸地域ビジョ

ン推進事業を下記のとおり実施したので、神戸県民センター地域躍動推進事業補助金交付要綱第11条の規定に基づき、その実績を報告します。

記

1 事業の内容及び経費区分（別記）

2 事業の着手年月日

(令和7年4月22日)

令和7年4月22日

事業の完了年月日

(令和7年7月31日)

令和7年7月24日

R7.4.1 から R8.3.31 の日付にする

3 添付書類

(1) 事業実施報告書（別紙5）

(2) 収支決算書（別紙6）

(3) 領収書総括表（別紙7）

(4) 領収書写し

(5) 記録写真

(6) チラシ及びポスター、当日プログラム

(注) 申請内容を上段に（ ）書で記入し、実績をその下段に記入する。

事業実施報告書

項目	内容	
事業名	外国人の子ども向け学習教室	
団体名	〇〇〇チーム	
実施場所・地域	〇〇センター	
実施日	令和7年10月19日(日)	
参加者	対象者	長田区に住む外国人の子ども
	人数	20人
	参加費	無料 ・ 有料(100円)
事業の目的	事業の目的(現状や課題、その解決方法など)	多様な文化や社会背景をもつ外国人の子どもや他国にルーツもった子どもは年々増加をしており、日本語支援を必要としている。そこで、そのような子どもたちを対象とした日本語学習支援や文化体験を通し、子ども達の居場所づくりを行う。
	神戸地域ビジョン2050との関連性(どの項目に該当する取組か等)	「うまれるまち(ウ)新しい共生のかたちかうまれる」 日本語教室や文化交流を通して、外国人の子ども達の居場所作りを行い、共生社会の実現につなげる。
事業の内容と成果	事業の内容や進め方、発信方法など	【事業内容】 (1) 日本語教室 講師を招き、日本語学習を行った。 (2) 文化交流 外国人の子どもと日本人の学生がお手玉やコマなどの日本の伝統遊びや外国の遊びを通して交流した。 【成果】 参加者募集にあたっては、チラシを作成し、これまでに交流のある団体等へ郵送した。また、チラシデータや活動報告を団体ホームページやSNSに掲載した。 長田区の〇〇学校に加えて、△△学校と連携し、交流の輪を広げることができた。
次年度以降の計画	本補助金の活用は (今回が)初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上	
	今後の事業展開や自主財源確保の取組等	アンケートの結果、今年度の内容が好評だったため、交流内容を充実させ、参加費を増額することで財源に充てていく。

(別紙5)

記載例

収支決算書

1 期間 令和7年度(令和7年 8月～ 令和7年 11月)

2 収入の部 (単位:円)

科目		金額	摘要
助成金 (A)		(65,000) → 63,000	令和7年度神戸地域ビジョン推進事業
自己資金 (B)	団体財源 (会費等)	(10,300) 10,500	
	市、区の助成金・補助金	交付決定額以内の実績額を記載 (千円未満切り捨て)	
	県・市を除く他の助成金・補助金		
	その他 (参加費・協賛金等)	(3,000) 2,000	参加費 (100円×20人)
合計 (A+B)		(78,300) 75,500	

(注) 兵庫県または兵庫県の外郭団体から他の助成金・補助金を受けている事業は、当該助成金を受けることができません。

3 支出の部 (単位:円)

科目		金額	摘要
助成対象経費	印刷製本費	(13,000) 12,000	チラシ印刷代、 当日資料印刷代
	通信運搬費	(1,300) 1,300	郵送料
	消耗品費	(10,000) 9,500	用紙、文具
	使用料	(16,000) 16,000	会場使用料
	委託料		
	保険料		
	謝金	(20,000) 20,000	講師2人分
	交通費	(5,000) 4,700	講師2人分
	人件費		
	小計 (C)	(65,300) 63,500	
助成対象外経費 (D)		(13,000) 12,000	菓子代、 団体スタッフ人件費
合計 (C+D)		(78,300) 75,500	

(注) 収入の部の合計 (A+B) と支出の部の合計 (C+D) は、一致させてください。

記載例

- ・補助対象経費に関する領収内容を記載する
- ・領収書の写しは、文字が見切れてしまわないように添付する

(別紙6)

領 収 書 総 括 表

(単位：円)

科 目	領収書内容	金額	領収日付	備考
印刷製本代	広報用チラシ印刷代	10,000	令和7年 8月〇〇日	①
	当日資料印刷代	2,000	令和7年 9月〇〇日	②
通信運搬費	郵送料	1,300	令和7年 9月〇〇日	③ ④送付リスト
消耗品	コピー用紙	1,000	令和7年 8月〇〇日	⑤
	ボールペン等の筆記用具	4,500	令和7年 9月〇〇日	⑥
使用料	会場使用料	16,000	令和7年 10月〇〇日	⑧
謝金	講師2人分	24,000	令和7年 10月〇〇日	⑨
交通費	講師2人分	4,700	令和7年 10月〇〇日	⑩
合 計		63,500		

収支決算書(C)と同額

※1 領収書は、収支決算書の支出の部の区分欄に記載した「科目」順、その科目ごとの支出年月日順に分類整理のうえ、番号を記入し、提出してください。番号は科目ごとに新しくせずに、通し番号で記載してください。

※2 電話代、交通費等領収書が添付しがたい場合は、明細書の提出により省略することができます。

記載例

領収書総括表
備考欄④

送付先リスト

発送日	送付先(相手方)	費用	内訳
9月〇日	○×児童クラブ	140円	@140円×1通
9月〇日	△□児童クラブ	140円	@140円×1通
9月〇日	□〇児童クラブ	140円	@140円×1通
9月〇日	×〇児童クラブ	140円	@140円×1通
9月〇日	〇〇児童クラブ	140円	@140円×1通
9月〇日	□〇センター	120円	@120円×1通
9月〇日	×△センター	120円	@120円×1通
9月〇日	〇□センター	120円	@120円×1通
9月〇日	△□センター	120円	@120円×1通
9月〇日	□×センター	120円	@120円×1通
合計		1,300円	